

教科	理科	科目	地学基礎実践	担当	
履修学年	3年	単位数	2	履修区分	普通科文系
教科書	地学基礎(実教)				
副教材等	ベストフィット地学基礎(実教)				

1 学習目標

地学や地学現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 関心・意欲・態度	地学や地学現象について関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、地学の共通性と多様性を意識するなど科学的態度を身につけている。
b 思考・判断・表現	地学や地学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c 観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
d 知識・理解	地学や地学現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前 期	4	第1編 惑星としての地球	第1章 太陽系の中の地球 第2章 地球の形と大きさ 第3章 地球の構造		○	○		○	a: 太陽系の天体について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 回転楕円体である地球について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 地球の層構造についての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: 地球の概要についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題	
					○		○				
	6	第2編 活動する地球	第1章 プレート運動 第2章 火山 第3章 地震		○			○	a: プレートテクトニクスについて関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 火山の分類とその構成岩石について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 地震波についての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: プレート境界面におきえる地学活動についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題	
					○		○				
	前期中間調査										
	5	6	第3編 大気と海洋	第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動		○			○	a: 地球の熱収支について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 大気と海水の大循環について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 水の状態変化とエネルギーとの関連性についての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: 大気構造と気象現象についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題
○							○				
9	5	第4編 移り変わる地球	第1章 地層の形成 第2章 古生物の変遷と地球環境		○	○		○	a: 古生物の化石について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 示準化石や示相化石について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 地層構造についての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: 地層が形成される際の地学現象についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題	
					○		○				
前期末調査											
後 期	9	第5編 地球の環境	第1章 環境と人間 第2章 日本の自然環境		○	○		○	a: 環境問題について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 日本の四季と特殊な気候について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 傾度力やコリオリの力などについての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: 物質の違いから生じる気候の変化についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題	
					○		○				
	5	11	第6編 宇宙の構成	第1章 太陽と恒星 第2章 宇宙のすがた		○			○	a: 天体について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: 恒星の誕生から終末まで、その生涯について科学的に考察し、表現することができるか。 c: 宇宙の全体像についての事象・現象を科学的に探究する技能が身につけているか。 d: ケプラーの法則やハッブルの法則についての公式を理解し、定量的に扱うことができる。	調査・授業・課題
○						○	○				
後期中間調査											

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
後 期	11	大学入試共通テスト対策			○	○	○	○	a: マーク式試験問題について関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。 b: マーク式試験問題について科学的に考察し、表現することができるか。 c: マーク式試験問題についての事物・現象を科学的に探求する技能が身についているか。 d: マーク式試験問題についての法則・公式を理解し、定量的に扱うことができる。	授業・課題
	5									
	3									

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	25	25	25	
b	25	25	25	
c	25	25	25	
d	25	25	25	
計	100	100	100	

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- (1)公式・定義・単位等、基本的知識を完全にする。
- (2)復習に重点を置き、分からない部分を放置せず、先生に質問するなどして理解に努める。
- (3)解答をただ写すだけの課題提出にならないよう、自分の考えで問題を解く習慣をつける。